

災害時のけがは、 応急救護所へ



これが目印です



大規模
災害発生



避難所

役割
災害により、被害を受け自分の家などを失い居住できなくなったとき、又は被害のおそれがある場合に避難する場所



設置場所
地区市民館、校区市民館、小・中学校など

応急救護所

役割
災害により、多くの医療機関が混乱し機能しなくなることが予想される場合に、負傷した人に対しトリアージを行い応急救置、医療機関への搬送調整等を行う場所。発災から72時間の開設を想定している。
(トリアージとは、負傷者の重症度に応じて、治療や搬送順位を色分けして決めること。)

トリアージ

軽症者
応急救護所
市内24か所

中等症者
後方収容病院
市内にある一般病床を有する
15医療機関＋
産科4医療機関

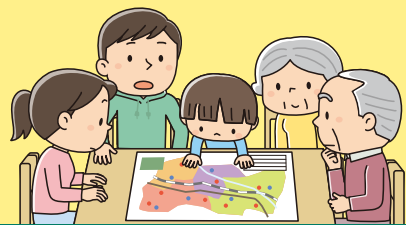
重症者
災害拠点病院
豊橋市民病院・
豊橋医療センター

応急救護所指定施設 (24か所)

＝優先的に開設する施設

前芝中学校	北部中学校	花田小学校	吉田方小学校	牟呂小学校	八町小学校
新川小学校	青陵中学校	石巻中学校	鷹丘小学校	東陽中学校	豊岡中学校
高師小学校	南部中学校	高師台中学校	中野小学校	章南中学校	大清水小学校
高豊中学校	二川小学校	岩西小学校	五並中学校	休日夜間急病診療所	明海地区産業基地

※開設している施設は、各種メディアや避難所で周知します。



私の近くの
応急救護所

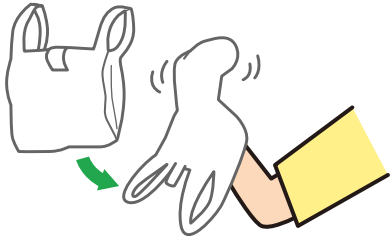


災害時の応急手当

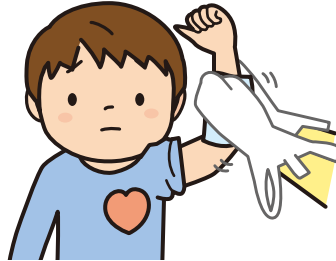
大きな災害が発生してけがをした場合に備え、
応急手当の方法を知っておきましょう。

+ 切り傷などによる出血

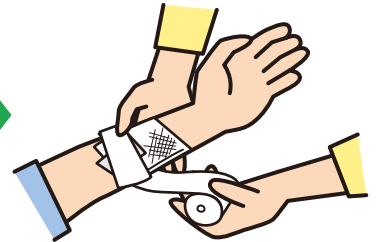
1 感染を防止するため、
ビニール袋などで手を覆います。



2 出血しているところに大きくて
厚さのあるきれいなガーゼや
ハンカチを当てて強く押さえます。
(心臓よりも傷口を高くすると、止血効果が高まります。)



3 包帯があれば、
ガーゼやハンカチの
上から巻きます。

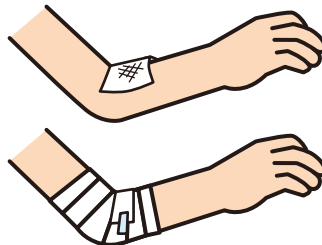


+ やけど

1 やけどしたところを、流水で冷やします。
(やけどした場所が服の下であれば、服の上から流水
で冷やします。)



2 消毒ガーゼか
きれいな布を当て、
包帯をします。



3 やけどがひどい場合は
医師の手当を受けましょう。



災害への備え

非常用持ち出し袋

避難時にすぐに持ち出せる場所に
準備しておきましょう。



- 水
- 食品
- 懐中電灯
- ラジオ
- 予備電池・携帯充電器
- お金
- メモ帳、ペン
- タオル
- 衣類・下着
- スリッパ
- マスク
- ウェットティッシュ
- 救急用品 (消毒液、ばんそうこう、薬、体温計など)
- お薬手帳 など



備蓄品

救援物資が届くまでの間
生活できるように、
準備しておきましょう。

- 食品や水 (1週間分)
- 生活用品 (ティッシュ、トイレトペーパー、
ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレなど)



ほかにも、家庭で必要なものは
日ごろから備えておきましょう。

